



携挙に向けて、手放さなければならぬ3つの事柄



林愛根



目次

携拳に向けて	1
--------------	---

携拳に向けて

携拳（イエスさまが来て天に召される）に向けて、手放さなければならない3つの事柄

はじめに

イスラエルとハマスが戦争状態に突入しましたね！

愛根は詳しいことは、分かりませんが、

これは終末により一步近づいた状態と、言えるでしょうね！ ☆

終末が近いかどうかは、イスラエル周辺を見れば、

大変よくわかるそうです☆

まず、エルサレムが軍隊に囲まれるでしょうね！

しかし、エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、そのときには、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。

ルカの福音書21章20節

この、滅亡というのは、天地が終わるということでしょうね！

世界もとうとうここまで来ました。

すべての苦難が、終わりに近づいているのかも、しれませんね。

しかし！ ここで、天地と一緒に滅んでしまっは、あとは地獄の火で

焼き払われるだけです！

そうならないために、私たちは、イエスさまを信じる必要があるのです。

私たちは、キリストの花嫁。

あなたの御名、崇めます。

イエスさま、早く来てください。

私たちには、あなたが、必要なのです。

☆聖なる目次☆

1. 自己中心

2. 不敬虔

3. 非愛

おわりに

1. 自己中心

自己中心は、自分本位とは違います。

自分本位とは、あくまで、人に配慮したうえで、

自分のやりたいことをやるのです。

人にやさしく、愛をもって、

控えめに。

自己中心とは、人の都合を考えないで、

人のことを悪く思ったり、

妨害したりしてしまう行為です。

ある意味、自己中心の人の方が、

自由に暮らしていないかも、しれませんね。

ちょっと、可哀そうではあるんですけどね。

この、自己中心ということばは、

聖書の中にも、出てくるんですよ♪

何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。

ピリピ人への手紙2章3節

虚栄もいけませんねww笑

このね、互いに相手を自分よりもすぐれた者として見るって、

とーっても大事なことなんですよ♪

人間関係を健全化するうえで、非常に重要です☆

上から目線はいけないし、

愛をもって、相手を尊重しあえば、

こんなにいいことは、ありません♪♪

私たちは、光の子どもです。

光の子どもらしく、神さまを愛して、

幸せに暮らしていければ、最高ですね！

もうすぐ、この世界も終わっちゃうかも、

しれないですけどね.....。

2. 不敬虔

こ・れ・も！！

いけないですよね〜♪

私たちの罪のために、

身代わりとなって、十字架につけられた、イエスさま！

私たちの罪を、すべて引き受け、

十字架上でいのちを引き取られました。

十字架刑っていうのはね、

“みせしめ”ですって！

十字架で苦しむ姿を、あざ笑うためですって！！ TT

見てる人は、いい気分かもしれませんが、

最も、いけない行為です！！

断罪です、そんなのっ。

イエスさまは、誰よりも優しく、

ダンディーで、強くて、

子どもを可愛がり、ほんとに、最高な人なんですよ！！

こういうね、人を、

安息日に人を癒したとか、

そんな理由で、逮捕して極刑は、

最もいけません！！

だから、ユダヤの方々に対して、

天のお父さまは、怒りを燃やしたりするんですね。

ユダヤ人は、主であられるイエスをも、預言者たちをも殺し、また私たちをも追い出し、神に喜ばれず、すべての人の敵となっています。

テサロニケ人への手紙2章16節

だ・か・ら。

こういう人にならないためにも、

主を愛し、イエスを愛するところを養う、

私たちでありたいですね♪

神さまは、あなたのすべてを喜ばれておられます。

ユダヤの方たち（イスラエル人）へのところも、

ほんとは、愛です。

愛情の裏返しです。

私たちを愛し続ける、イエスさま。

お父さまに私は、どう見られているのでしょうか。

主を恐れる私たちでありたいですね。

アーメン。

3. 非愛

これも、最も、いけません。

人を愛する気持ちを、すべての人に拡大させていくんです。

これが、アガペー（神の愛）です。

愛情をもって、塩気のあることばで語るんですね♪

あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。

コロサイ人への手紙4章6節

愛っていちばん大事ですからね！

こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。

コリント人への手紙第一13章13節

それにね、結びの帯として、完全なんですよ♡

そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。

コロサイ人への手紙3章14節

結びの帯って、何なんでしょうね.....。

ここの個所は、ESV 聖書で、

And above all these put on love, which binds everything together in perfect harmony.

みたいですね.....（関係代名詞）

互いに結び合う、完全な帯みたいですね☆

それが、愛!!!

です！♪

ESV 聖書は、キンドルで安いはずなんですよ。

.....探してみましたところ、タダでしたよ♡

ほんとに、福音のためにありがたいです。

私たちを結び合わせる兄弟愛。

私も近々、いつも通っている教会へ、

行ってみようと思うのですよ♪

とっても嫌なんですけどね.....。

おわりに

ここまで、お読みくださって、ありがとうございます。

あなたは、愛されています。

終末、携挙（イエスさまが来て天に召される）に

もし、入れなかったら、

そのまま、患難期7年に一直線です。

こんなに、大変なことはありませんTT

だから、こうならないために、

イエスさまを信じて、神さまを崇めて、

日々喜びをもって、生きていかなければならないんですね。

聖書信仰とか言う前に、

イエスさまを愛して、賛美歌とかを聴いたりして、

生活していればいいんですね♪

(聖歌とか、讃美歌とか LYRE がおすすめ☆)

私たちは、光の子ども☆

そして、イエスさまの花嫁♡

地上での、苦難も、もうすぐ終わりかも、しれませんね！

こんなにいいことは、ありませんね！ ☆

私たちが愛してくださるイエスさま。

あなたの御名を崇めます。

イエスさまが、来てくださることを待ち望みます。

この世界を終わらす、あなたのさばきを。

アーメン。

2023年10月22日

林愛根

参考文献 新改訳聖書

可愛い愛根ブログ (もうすぐ閉鎖)

<https://ameblo.jp/lapis-2019/>

林愛根の好きなこと

https://www.youtube.com/channel/UCEZ33vxw-j_2-m_Zfj_4J6A

携挙に向けて、手放さなければならない3つの事柄

著 林愛根

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
